

～東日本大震災から14年～

3.11 追悼礼拝と感謝の会 2025 プログラム



日 時：2025年（令和7年）3月11日（火）

追悼礼拝 14:30～15:10 感謝の会 15:15～15:45

場 所：日本キリスト教団石巻栄光教会礼拝堂

主 催：石巻広域ワイズメンズクラブ

共 催：公益財団法人仙台 YMCA

4 ワイズメンズクラブ連絡会議

（仙台・仙台青葉城・仙台広瀬川・石巻広域クラブ）

ワイズメンズクラブ国際協会東日本区

特定非営利法人被災者支援ネットワーク・東北ヘルプ

日本キリスト教団石巻栄光教会

< 礼 拝 >

(14:30~15:10)

司会 川上 直哉
説教 阿部 頌栄
(仙台富沢教会 牧師)
奏楽 吉永 肇子

1. 前奏
2. 招きのことば 「慰めよ、慰めよ、私の民を——と、あなたがたの神は言われる。」(イザヤ書 40:1)
3. 讃美歌 ウクライナ民謡による「キリエ・エレイソン (主よ あわれみたまえ)」(希・日二回ずつ)
4. 祈り 「2024 年 3 月 11 日 東日本大震災から 14 年を数えて ——東日本大震災を振り返って」
5. 讃美歌 フィンランドニアによる「やすかれ わがころよ」(1 節のみ)
6. 聖書朗読 マタイによる福音書 26 章 36~39 節

36 それから、イエスは彼らと一緒に、ゲッセマネという所へ行かれた。そして弟子たちに言われた、「わたしが向こうへ行っている間、ここに座っていなさい。」³⁷ そしてペテロとゼベダイの子ふたりとを連れて行かれたが、悲しみを催した悩みはじめられた。³⁸ そのとき、彼らに言われた。「わたしは悲しみのあまり死ぬほどである。ここに待っていて、わたしと一緒に目をさましていなさい。」³⁹ そして少し進んで行き、うつぶせになり、祈って言われた。「わが父よ、もしできることでしたらどうか、この杯をわたしから過ぎ去らせてください。しかし、わたしの思いのままにではなく、みころのままになさって下さい。」

7. 説教 「小さな声がわたしたちを動かす」
8. 讃美歌 「球根のなかには」
9. 派遣 「神のめぐみ ゆたかに受け」
10. 祝祷 阿部頌栄牧師
11. 後奏

32

礼拝 キリエ

キリエ・エレイソン

KYRIE ELEISON
曲：ウクライナ民謡

キ主 リエ・エ わ イソ、 イソ、
レ れ キ主 リエ・エ わ イソ、 イソ、

(♩=88)

マタ15:22, 20:30-31

苦難と慰め
やすかれ、わがころよ

[1298]

Stille, mein Wille
詞: Katharina von Schlegel, 1697-?

FINLANDIA
曲: Jean Sibelius, 1865-1957

1 やすすす かがれ、わがころよ
2 やすすす かがれ、わがころよ
3 やすすす かがれ、わがころよ

主 イエスなつ には いと まき
た えみ か ひ の す。も、き
の ぞのちの なし。ア-メン。

い た み も
お そ れ に
み き を も
く か や を
な が し み
る し た
が が き
を を

し ず か ね い よ。
み う れ に だ え
う れ に だ え
の べ わ き
し す と ねん。
た ゆ き て、

讃美歌 フィンランドニアによる「やすかれ わがころよ」

主 イエスなつ には いと まき
た えみ か ひ の す。も、き
の ぞのちの なし。ア-メン。

1 やすかれ、わがころよ、
主 イエスはともになります。
いたみも苦しみを
しづかに忍び耐えよ。
主 イエスのともにませば、
耐ええぬ悩みはなし。

2 やすかれ、わがころよ、
なみかぜ猛るときも、
恐れも悲しみを
みむねにすべて委ねん。
み手もてみちびきたもう
のぞみの岸はちかし。

3 やすかれ、わがころよ、
月日の移ろいなき
み国はやがてきたらん、
うれいは永久に消えて、
かがやくみ顔あおぐ
いのちのさちぞ受けん。

ヨハ20:19-21 ヨシュ1:9 イサ7:2-4, 30:15, 35:10
詩13 ヘブ12:10-11 ロマ12:12 黙21:4

死・よみがえり・永遠の生
球根の中には

In the bulb there is a flower
詞：Natalie Sleeth, 1930—

PROMISE
曲：Natalie Sleeth, 1930—

1 きゅうこん のなかにははなが ひめられ、
2 ちんも くはやが てうたに かえられ、
3 いのちのおわりはいのちのはじめ。

さなき いのちのなかにははなが ひめられ、
ふかき 闇の中 夜明け近づく。
おそ 寒い冬の中 春はめどめる。
その日、その時を ただ神が知る。

さむ いのちの終わりは いのちの始め。
すき ついに 信仰に、死は復活に、
ついに 変えられる 永遠の朝。
その日、その時を ただ神が知る。

1-3 その日、そのときをただかみがしる。

ア—メン。

1 球根の中には 花が秘められ、
さなきの中から いのちはばたく。
寒い冬の中 春はめどめる。
その日、その時を ただ神が知る。

2 沈黙はやがて 歌に変えられ、
深い闇の中 夜明け近づく。
過ぎ去った時が 未来を拓く。
その日、その時を ただ神が知る。

3 いのちの終わりは いのちの始め。
おそれは信仰に、死は復活に、
ついに変えられる 永遠の朝。
その日、その時を ただ神が知る。

I コリ15：30-49 コへ3：1-11 ロマ13：11-12

Words © 1986 and this trans. © 1997 & Music © 1986 by Hope Publishing Co., Carol Stream, IL 60188. All rights reserved. Used by permission.

く。る。よ。う。
ゆれうも
みらそく
さけたを
いさはかた
はにとも
みのこ
———
たもし
———
のるのひ
みじびな
か 信 ひん

ね き
た び
の ち
そ み
た で
れ り
か か
ま ひ
に て
か だ
な そ
の で
ろ み
こ ぐ
こ め

1 2

[illegible]

神の恵み　ゆたかに受け
 神の民は　勇み行く。
 礼拝はおわつた、そのみよりは
 信じるものに　授けられる。
 心の中にまかれたその種
 行動の花を　ひらかせる。
 神は招き、愛は結び、
 み国のため　働こう。

< 感 謝 の 会 >

(15:15~15:45)

司 会 清水 弘一

1. 主催者あいさつ 石巻広域クラブ次期会長 石川 光晴

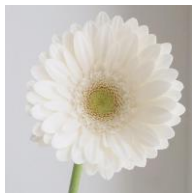
2. 共催者代表あいさつ

(1) 公益財団法人仙台 YMCA 総主事 加藤 雄一 様

(2) ワイズメンズクラブ国際協会 東日本区理事 山田 公平 様

3. 出席者の紹介 司会者

4. 全員で合唱 「30年の阪神淡路・15年目の東北・1年の能登を覚えて」 川上 直哉



< 花 は 咲 く >

ハーブ演奏 石井 龍子



1. 真白な雪道に 春風香る

わたしはなつかしい あの街を思い出す
叶えたい夢もあった 変わりたい自分もいた
今はただなつかしい あの人を思い出す
誰かの歌が聞こえる 誰かを励ましている
誰かの笑顔が見える 悲しみの向こう側に
花は 花は 花は咲く いつか生まれる君に
花は 花は 花は咲く 私は何を残しただろう

2. 夜空の向こうの 朝の気配に

わたしは なつかしい あの日々を思い出す
傷ついて 傷つけて 報われず 泣いたりして
今はただいとおしい あの人を思い出す
誰かの想いが見える 誰かと結ばれている
誰かの未来が見える 悲しみの向こう側に
花は 花は 花は咲く いつか生まれる君に
花は 花は 花は咲く 私は何を残しただろう
花は 花は 花は咲く いつか生まれる君に
花は 花は 花は咲く いつか恋する君のために

5. 閉会のことば

4 ワイズメンズクラブ連絡会議代表 菅野 健

(仙台・仙台青葉城・仙台広瀬川・石巻広域クラブ)

<うら>

